

国際的観点からの有害金属対策戦略策定基礎調査について

1 . 事業の概要

水銀、カドミウム、鉛等の金属の大気中長距離移動、生物への蓄積、製品の貿易に伴う移動等による、北極圏や途上国での環境汚染が国際的に問題となっており、国連環境計画（UNEP）において対応が検討されている。また、電気電子機器等の製品に含有される有害金属について、来年から、欧州で規制が実施され、我が国における輸入品を含めた対策が課題となっている。

こうした国際的な動きに主導的に対応し、有害金属に係る環境汚染を未然に防止するため、以下の事業を行う。

我が国における高精度の環境監視

製品等に含有する有害金属含有量の測定及びマテリアルフローの把握並びに排出目録の作成

アジア太平洋地域における環境監視及び将来濃度予測

上記の調査を受けた有害金属対策国際戦略の策定

2 . 事業計画

	17年度 (予備調査)	18年度	19年度	20年度	21年度
我が国における高精度の環境監視	測定法検討	離島における試行調査	→	継続的監視	→
製品等に含有する有害金属含有量の測定・マテリアルフローの把握・排出目録の作成	文献調査、鉛及びカドミウムに関するデータと りまとめ	電気製品における金属含有量調査	→	他の製品につき検討	→
		医療系廃棄物焼却炉からの水銀排出量測定	→	他の排出源につき検討	→
アジア太平洋地域における環境監視及び将来濃度予測		計画策定	予備調査	本格調査	→
上記の調査を受けた有害金属対策国際戦略の策定					戦略策定